

発行元：大牟田市社会福祉協議会
 〒836-0815 大牟田市瓦町 9-3
 電話 57-2519 FAX 57-2528
 E-mail: omshakyo@omshakyo.or.jp

**令和7年度 大牟田市総合防災訓練に参加しました！
 ～ICTによる災害ボランティアセンター運営訓練を実施しました～**

11月16日に、大正小学校で実施された「令和7年度大牟田市総合防災訓練」に参加しました。令和5年度にイオンモール大牟田で「ICT体験※」を行ってから2年が経過しており、今一度、地域の方々に災害ボランティア受付やニーズ申込みをスマホやタブレットなどで行う仕組みに触れていただくことを目的として実施しました。

当日のICT体験では、総合防災避難訓練に参加されている方々へ呼びかけ、スマホを使った「被災を想定した地域住民ニーズや災害ボランティア登録受付入力」を体験していただきました。ICT体験をされた高齢者からは、「スマホを使った入力などがスムーズにいかない」「時間がかかってしまう」「日々活用していないと、すぐ忘れてしまう」「若い人や地域の世話人等に代わりに入力してもらわないと、高齢者では難しい」との意見をいただき、まだまだハードルが高いことを実感しました。

今後も「ICT体験」を重ねながら、ネット受付というスタイルを確立し、災害時にスムーズな支援が行えるように地域に定着させていきたいと思ひます。

※ICT体験…スマホなどの情報通信技術（ICT）を実際に使ってみることで、その機能や効果を体感することを指します。通信を用いたコミュニケーション手段。



**～若者とシニア世代がファッションを通じて想いを繋いでいく～
 「世代を超えたファッションショー」を開催します！**

観覧無料

～文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業・障害のある人等の文化芸術活動推進事業～

【テーマ】未来を紡ぐファッションショー ～OMUTAコーデバトン2025～

【日時】12月20日(土) 13:30開演 (15:30終了予定)

【場所】イオンモール大牟田 ありあけコートステージ

《アクティブシニアモデルによるステージ》

誠修高等学校 生活文化科トータルビューティーコースの1年生の皆さんが制作した衣装を市内の元気高齢者(ふれあいサロン利用者・老人クラブ等)のモデルが着て、思い出のBGMにあわせて個性を表現します。

《誠修高等学校3年生のモデルによるステージ》

誠修高等学校 生活文化科トータルビューティーコースの3年生の皆さんが制作した衣装を自ら着て、これからの夢と希望を表現します。

【主催】大牟田市文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業実行委員会

【共催】大牟田市、公益財団法人大牟田市文化振興財団、大牟田市社会福祉協議会

【後援】大牟田市教育委員会 【問合せ】生涯学習課 ☎0944-41-2864



Information

*****ご寄贈ありがとうございました*****



中尾 哲郎様より、お米をご寄贈いただきました。お寄せいただいたお米(30kg×4袋)は、本会が実施している「子ども地域食堂」や「生活困窮者支援事業」に、有効に活用させていただきます。毎年、定期的なお米のご寄贈に対して、厚く感謝申し上げます。また、様々な団体様から、たくさんのインスタント・レトルト食品等もご寄贈いただいています。本当にありがとうございます！



**昨年度に引き続き… 篤志家(団体)様から
 「子ども食堂」「子どもの居場所」「子育てサロン」へご寄付をいただきました！**

昨年度に引き続き、篤志家(団体)様から「市内の子ども達の“食”のために…」と多額のご寄付をいただきました。市内には様々な形態の子育て支援事業が展開されており、今年度は、小地域エリアの「子ども食堂」をはじめ、「子どもの居場所」や「子育てサロン」等24団体に対して、ご寄付をお渡しさせていただきました。これから、クリスマスやお正月を控え、それぞれ「クリスマス会」や「新春の集い」などの費用に充てていただきたいと思います。今後とも、市内の子ども達のために、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。ご寄付を受けた団体からも喜びの声が聞かれました。本当にありがとうございました。



寄付説明会の様子



寄付説明会の様子

【ご寄付をお渡しした団体】

- ①三池わいわい食堂 ②キッチンありあけ ③明治こもれび食堂 ④さいせい・子ども食堂 ⑤羽山台こども食堂(仮称)
- ⑥よつやまふれあい食堂 ⑦ようき食堂 ⑧天の原 CS すみよか広場 ⑨じじっか・おおむた ⑩大牟田ありがとう食堂
- ⑪Yell Kitchen ⑫フリースクール学び舎福岡大牟田教室「空∞ん」 ⑬いちたすはうす ⑭手鎌こどもの居場所「あえ～」
- ⑮不登校・ひきこもり家族の会「ふきのとう」 ⑯オフライン寺子屋ぱすてる ⑰PREIS ⑱くらながっこふれあい広場・レインボー
- ⑲みんなおいでよ！赤ちゃんルーム ⑳みなと子どもの広場 ㉑四ヶげんき会 ㉒吉野ふれあい広場 ㉓白井町 YOUTHS
- ㉔学習支援教室(三川・手鎌・センター)

行政書士相談

12月17日(水) 13:30～15:30 ※先着10名(要予約) 生活支援相談室 ☎32-8851

【編集後記】

先日、同居している92歳の義母が転倒した。玄関の段差の角で後頭部を打ったようで、ぼっこりと腫れていたが、意識はあり、しゃべることもでき、「冷やさん」としきりに言う。こんな状態の時、果たして救急車を呼んでいいのか迷った。毎年受ける救急救命講習で教えてもらった『救急車を呼ぶかどうか迷った時の電話番号』がいざという時に思い出せず、あわててネットで調べると、#7119だった。しかし、焦りまくっている私の目に番号の前の#(シャープ)が見えていなかった。当然繋がるはずもなく、結局119にかけた。

研修で学んだことを緊急の場面で活かすことの難しさを感じた。ちなみに救急車には乗らず、自宅から直接受診することになった義母は大丈夫だった。(歴木保育所 杉野)



大牟田市内の中学生と一緒に福祉について学びました！



① 御木中福祉体験の様子

10月30日 御木中学校の生徒の皆さんに「福祉」についての講話の後、「高齢者疑似体験」の演習を行いました。「高齢者疑似体験」では、おもりやアイマスクなどを着用して歩いてもらい、見えづらさや歩きづらさ、聞こえづらさなどを実際に体験してもらいました。



高齢者疑似体験の様子

生徒たちは「歩きにくい！」や「見えない！」を実感したようでした。また、クラスメイトに支えられて歩く事で、誰かに助けてもらえる安心感を得たようでした。

10月31日は、社協サービスふれあい 処「えいる」に来ていただき利用者とお話していただきました。利用者さんと手話を使って一緒に歌を歌ったり、eスポーツのボーリングやチャンバラをして盛り上がりました。最後の挨拶をする時には、別れを惜しんで涙する利用者さんもいて、今回の出会いが利用者とお話の双方にとって良い思い出になった事と思います。また、今回の体験を通して、今後生徒の皆さんには、福祉について考え、興味を持ってもらえるとうれしいです。



えいるの皆さんと...

② 松原中福祉体験の様子



講話の様子

11月18日に松原中学校1年生の2学期総合DAYが実施されました。大牟田市社会福祉協議会は、高齢者福祉分野のブースを担当しました。

担当校区である中央地区 地域包括支援センターの職員の方にも来ていただき、日頃どんな仕事をしているのかについての講話と高齢者疑似体験セットを使った、体験型の演習を行いました。

講話では、子ども・地域食堂の話や中友校区子ども

民生委員の話などを用いたことから、福祉について身近に感じてくれた中学生もいました。演習では、高齢者疑似体験後に「腰が痛かった」「歩くのが大変だった」などの感想が聞かれました。また高齢者の身体の状態を知り、「地域の高齢者の方で困っている人がいたら手伝おうと思った」と前向きな意見もありました。

思いやりの心を育ていけるような福祉教育を目指していきます。



高齢者疑似体験の様子

③ 宅峰中福祉体験の様子

宅峰中学校からの福祉教育の依頼を受け、1年生約170名に11月6日に福祉についての講話と、11月20日に車いすを使用した福祉教育を行いました。

車いす体験では、生徒たちが16グループに分かれ、利用者役・介助役・記録役を交代しながら校内に設けたチェックポイントを回りました。体験を通して、車いすで段差を乗り越えることの難しさや座った状態での日常生活における様々なバリアについて考える機会となり、それぞれの思いや振り返りを行うことができていました。



車いす体験の様子



困っている方がいたら声をかけてください

今回の福祉教育では、株式会社快援隊 介臨丸様より車いすをお借りし、医療法人 CLS おがはら 菅原病院様、社会福祉法人キリスト者奉仕会 つくしんぼ様、株式会社快援隊 介臨丸様、中央地区地域包括支援センター様のご協力により、チェックポイントでのアドバイスを受けた際の体験となりました。

また、グループワークでは、ご指導いただいた学校法人帝京大学 福岡医療技術学部 理学療法学科助教 吉村和代先生と同大学の学生ボランティア16名を交えて、体験の振り返りを行いました。5事業所30名の皆様のご協力により、宅峰中1年生の福祉教育車いす体験授業を無事に実施することができました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



グループワークの様子

はたらくことに不安がある方 いっしょにコミュニケーションについて学びませんか？ 人間関係を円滑にするためのコミュニケーション講座

仕事に空白がある方、職場の人間関係で悩んだ経験がある方、就労を希望していても働くことに不安がある方を対象とした講座を実施します。

【とき】 12月12日(金) 14:00~15:30 (受付13:30~)

【ところ】 大牟田市総合福祉センター2F 大会議室

【講師】 障害者就労・自立支援センターたんぼぼ 施設長 谷山 恵一さん

【参加費】 無料 ※事前予約制(先着15名)

【問合せ・申込み】 大牟田市社会福祉協議会 生活支援相談室

TEL:0944-32-8851

MAIL:soudan@omshakyo.or.jp



申込フォーム

3学童交流行事「学童っ子のつどい」を開催しました

11月8日、本会運営の学童(三池、高取、白川学童保育所)が一同に諏訪公園に集まり、3学童交流行事「学童っ子のつどい」を開催しました。昨年は残念ながら、雨天中止となりましたが、今年は、11月とは思えないほどの暖かい晴天の中、141名の親子の参加がありました。3学童の児童と保護者が混合チームを組んで、様々なクイズやゲームに挑戦しながら、公園一帯を散策し、笑顔のあふれる時間を過ごしました。

普段は、なかなか交流のない他学童の子ども同士が仲良くなるきっかけにもなり、保護者同士の会話も自然と広がりました。親子で一緒に楽しめる、思い出深いひとときとなりました。



「家族で行こ行こわくわくDay」を開催しました

11月9日、新栄町のえるにて「家族で行こ行こわくわくDay」を開催しました。大人と子どもを合わせて210名の方々にご来場いただきました。

1階の「つどいの広場」では、身体測定や管理栄養士による食育・栄養相談、子ども服やおもちゃを譲る「おゆずりコーナー」を実施し、多くの親子に利用していただきました。また、2階では「交流広場」と「中研修室」において、身近な材料を使った工作や水時計づくりなどの体験コーナー、「ハイハイよちよち競争」や「ダンボールプール」等、盛りだくさんの内容があり、親子で一緒に取り組む様子や楽しんでいる姿がたくさん見られ、にぎやかな一日となりました。スタッフ全員の「親子が楽しく遊べるように…」という願いが届き、無事に終了することができました。

当日は、帝京大学の学生や子育てサポーター、大牟田食改善会員、市職員など沢山のボランティアとしてご協力いただいたお陰で、混乱することなく、スムーズな運営を行えました。ありがとうございました。



身体測定の様子



親子工作体験の様子



子育てサポーターのお話し会の様子

ママのところにまで頑張れ!